事務事業調書	No	291	課 名	子ども課	起 案 者	戸田雅之
平成23年度			係 名	子ども係	決 裁 者	杉浦雄裕
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	1,2,3,4,6,7,8,9,10,
事務事業名	保育園事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 2 保育サービス		予算科目(会計)	一般会計	
			予算科目(款・項・目)	15-10-15	
			総合計画以外の計画	次世代育成支援行動計画	
			関連する総合計画の施策		
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの（義務的		法定受託事務	無	
根拠法令	有	児童福祉法第24条			
実施方法	一部委託	委託先	その他(社会福祉法人・医療法人)		
実施期間	開 始	昭和23年度	経 過	63年目	終 了		期 間	
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	仕事や病気のため、昼間に児童を保育することができない保護者が	～になる	保育を任せることができる。
事務事業の内容	仕事などの事情により家庭で保育が出来ない児童を預かるために設置した、公立保育所23園の運営管理をしています。			
事務事業進捗状況	昼間保護者のいない児童の預かりを、公立23園、私立8園で実施し、年度途中で入所児童を受け入れることで、待機児童を出さないようにし、共働き家庭等の子育て支援に努めました。 【平成22年度実績】・保育園数（定員数）公立23園（3,150人）私立8園（480人） ・入所児童数（以下延人数）公立34,656人 私立6,176人 ・広域入所児童数（委託延人数）公立8人、私立5人 ・延長保育22園16,068人 ・一時保育7園8,894人 ・休日保育2園1,259人 ・低年齢児保育20園 ・障害児保育24園 ・病児・病後児保育1箇所（民間）189人			
改善・対策の履歴	公立で実施していた病児保育に替え、平成21年7月から、医療法人に委託し、病児・病後児保育を開始しました。 平成22年から20時までの延長保育を22時までに延長し、実施（民間1園）しました。 平成21・22年で公立保育園の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付ました。 保育サービスを充実することで、仕事を持つ家庭が安心して子育てできる環境整備を図っています。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			
	13 市民・市民団体・事業者・市のパートナーシップの形成 01 良好なパートナーシップの形成 04 園児に対する環境学習の推進			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		2,819,012	2,716,007	2,903,259	2,817,548	2,876,994	2,885,626	2,982,697
	財 源 計 a		908,726	805,721	954,495	868,784	938,772	948,910	999,295
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	1,522	878	2,948	2,986	2,337	13,420	10,908
		県 支 出 金	24,502	22,673	27,230	38,292	33,030	29,223	29,645
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	698,621	696,265	697,104	711,874	705,885	799,352	689,482
		一 般 財 源	184,081	85,905	227,213	115,632	197,520	106,915	269,260
	受 益 者 負 担 金		698,621	695,267	697,104	711,817	705,885	799,352	611,402
	職 員 人 件 費 d		1,910,286	1,910,286	1,948,764	1,948,764	1,938,222	1,936,716	1,983,402
	内 訳	従 事 職 員 数	253.69	253.69	258.80	258.80	257.40	257.20	263.40
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	保育事業	見込(単位)	40,000.00	40,000.00	40,500.00	40,900.00
				実績b(単位)	40,412.00	40,980.00	40,820.00	
		指標名(単位)	児童数(人)	活動の総事業費f 実績	2,716,007	2,817,548	2,885,626	
				単位コストg=f÷b 実績	67.21	68.75	70.69	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	公立保育園入園待機児童数(人)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度	平成26年度		
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		特別保育事業実施園数(園)	見込(単位)	27.00	28.00	28.00	28.00
			実績(単位)	31.00	31.00	31.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	31.00	目標達成年度	平成26年度		

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	大きな事故や怪我がなく保育を実施できたことは、日ごろから園児に対し保育士の目が行き届いていたことにより、安全安心な保育が実施できたものといえます。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	低年齢児保育や特別保育事業の利用者増加に伴い、臨時職員を雇用したことにより人件費が増加しました。
	成果1，2	女性の社会進出、核家族化の進行などによる保育ニーズの増加により、低年齢児保育児童数や特別保育事業の児童数が増加していますが、年度途中入所児童に対応する臨時保育士の採用により待機児童ゼロを継続できました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・入園園児数に合わせて効率的職員配置をしていきます。 ・特別保育など多様化する保育ニーズへの対応を検討していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・待機児童を引き続きゼロとして,子育て家庭を支援していきます。 ・保育ニーズに合わせ特別保育事業を実施します。